

新潟県立中央病院 倫理委員会オプトアウト書式

①研究課題名	入院患者におけるリハビリテーション医療の資源活用と有効性についての観察研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	県立中央病院に入院し、2022年4月1日～2027年3月31日までに退院した65歳以上の患者さんを対象とします。
③概要	この研究は、県内の様々な機能や規模の異なる病院において、過去の診療録のデータから高齢患者さんへのリハビリがどのように実施され、その効果を示しているかを調査します。また、それらに心臓病などの疾患や加齢に伴う変化が及ぼしている影響などを詳細に解析します。 研究に際しては、個人を特定できない状態でデータを解析しますが、この研究についてのご質問や、ご自身の情報を使ってほしくない場合は、下記担当者へご連絡ください。 ご自身のデータ利用を拒否された場合にも、不利益は生じません。
④申請番号	2510
⑤研究の目的・意義	この研究によって、超高齢社会におけるリハビリの有効な活用モデルの提案や病院の機能分化の最適化、より効果的なリハビリ資源の活用に寄与し、健康寿命の具体的な延長、につながるものと考えます。
⑥研究期間	2025年4月21日から2029年3月29日まで
⑦情報の利用目的及び 利用方法（他の機関へ 提供される場合はその 方法を含む。）	診療録から抽出された医療情報は、個人を特定できない形で新潟大学に情報が提供され、身体機能に関連する医学的な特徴や、リハビリの効果を解析します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、個人が特定できるような情報が公表されることはありません。情報の使用停止の求めがあった患者さんの情報は使用しません。
⑧利用または提供する 情報の項目	入院時の年齢、性別、基礎疾病情報や検査（血液検査、生理検査、画像検査など）、リハビリを含んだ治療に関する既存の診療記録のデータを利用します。
⑨利用する者の範囲	新潟大学 循環器内科 主任教授 猪又孝元 新潟大学 循環器内科 特任准教授 小幡裕明 新潟大学 循環器内科 助教 高山亜美 新潟大学 循環器内科 特任助教 萱森裕美 新潟南病院内科 医長 石塚光夫 新潟臨港病院 病院長 鈴木 裕 木戸病院 循環器内科 部長 山口利夫 桑名病院 病院長 渡邊正人 新潟市民病院 循環器内科 部長 高橋和義 下越病院 循環器内科 部長 末武修史 信楽園病院 循環器内科 部長 今井俊介 済生会新潟病院 循環器内科 部長 柳川貴央 県央基幹病院 循環器内科 部長 宮北 靖

	長岡赤十字病院 循環器内科 部長 富田 任 長岡西病院 病院長 永井恒雄 立川総合病院 循環器内科 医長 藤田 聡 悠遊健康村病院 病院長 立川 浩 小出病院 循環器内科 部長 桑原 治 魚沼基幹病院 循環器内科 部長 渡辺 智 岩室リハビリテーション病院 医事課 松本直美 糸魚川総合病院 病院長 山岸文範 けいなん総合病院 病院長 平野正明 上越総合病院 病院長 籠島 充 柏崎総合医療センター 病院長 相田 浩 小千谷総合病院 病院長 柳 雅彦 長岡中央総合病院 病院長 矢尻洋一 新潟医療センター 病院長 吉澤弘久 豊栄病院 病院長 関 慶一 あがの市民病院 病院長 藤森勝也 村上総合病院 病院長 杉谷想一 佐渡総合病院 病院長 佐藤賢治 県立新発田病院 循環器内科 部長 土田圭一 県立坂町病院 病院長 牧野邦比古 県立津川病院 病院長 原 勝人 県立松代病院 病院長 鈴木和夫 県立十日町病院 病院長 吉嶺文俊 県立妙高病院 病院長 岸本秀文 県立中央病院 循環器内科 部長 西川 尚
④試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 循環器内科 特任准教授 小幡裕明 新潟県立中央病院 循環器内科 部長 西川尚
④お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学 循環器内科 氏名：小幡裕明 Tel：025-227-2185 E-mail：obata-h@med.niigata-u.ac.jp